

ヨシ刈りボランティア ニゴロブナ・ワタカ放流式



12月4日(土)、安土町西の湖(近江八幡市)にて、滋賀県様・滋賀県水産振興協会様・淡海環境保全財団様のご協力のもと、「ヨシ刈りボランティア」と、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種の「ニゴロブナ・ワタカ」の放流を実施しました。当日は、当行役職員(京都エリア、山科エリア)と協働いただいた企業(損保ジャパン様、CoCo 壱番屋様)の皆さま、総勢180名が参加。

ヨシ刈りでは、大人の背丈以上に伸びたヨシを鎌で刈り取り、紐で束ねて積み上げました。放流式では、バケツに入ったニゴロブナ・ワタカの稚魚を、大きく育つようお願いを込めて琵琶湖に放ちました。終了後は、獣害対策や食品ロス問題の解決につながる CoCo 壱番屋様の鹿肉カレー等を参加者全員で美味しくいただきました。当行はこれからも琵琶湖の生態系保全に積極的に取り組んでまいります。



みんなで最後はカレーを
おいしく頂きました!



刈り取ったヨシは、当行の名刺に生まれ変わるんだよ!これらの活動は、SDGsのゴール6「安全な水とトイレを世界中に」や、ゴール15「陸の豊かさを守ろう」の達成に貢献しているよ!

